

事業計画書

	佐久の縁が和(輪)ぼっこ
実施箇所	地域の居場所（佐久市下小田切135-5）
実施期間	事業開始予定年月日 28 年 4 月 1 日
	事業終了予定年月日 29 年 3 月 31 日
事業概要	<p><事業の目的></p> <p>①地域に居場所をつくることにより、みんなで支えあう地域力を高める。②気軽に居場所に参加することで、いろいろな縁が生まれ、理解し合い共に成長できる。③声を掛け合うことでひきこもり予防になり、こころの健康の保持・増進を目指す。④学習会・教育文化DVD上映など学ぶ機会を増やし、地域の文化交流を促進する。⑤本会の活動で得た情報を発信し、市内あちこちに居場所が広がるように協力をしていきたい。</p>
	<p><事業の内容></p> <p>毎週日曜の午前に、地域の居場所として「えんがわぼっこ」を空き部屋を借りて開いている。毎回行うテーマについては、市民の運営委員12人が毎月運営会議を開き、前月の振り返りと翌月のテーマについて話し合う。そこで決まったことを、地元の山下新聞店「ご近所かわら版」（臼田地域と野沢地域の全読者に配布されている）。しっかり学ぶことと楽しく交流するという二つの任務を果たすようにしている。</p>
	<p><事業の効果・アピールポイント></p> <p>①居場所としての地域の理解が広まっており、初年度一回平均10,7人より昨年13,3人と増えてきている。②社会的弱者である心の病む人、高齢者、一人暮らし、連れ合いを無くした人などが「ここは、安心が出来てホッとすると」参加されている。③昨年夏ごろから注目度が増えており、県の「縁側づくり」の基調講演をはじめ、市民活動団体・県高齢協・社会福祉士会・退職看護職の会などより、講演依頼が続いている。</p>
	<p><事業における市の役割分担></p> <p>地域の居場所という内容や性格から、社会的弱者の人々が支えあう組織なので、ここでお金を生み出す事業は極めて困難です。公的機関である市の立場から年間わずか数万円という毎年団体支援を3年期限でなくずっと支援をこころよりお願いします。補助金がなくなると継続の困難さは一段と厳しくなります。</p>